



330 GC

油圧ショベル

技術仕様

コンフィギュレーションおよび機能は地域により異なります。利用可能かどうかは、地域の Cat® ディーラにお問い合わせください。

目次

仕様.....	2
エンジン.....	2
旋回機構.....	2
質量.....	2
トラック.....	2
駆動系.....	2
油圧システム.....	2
交換容量.....	2
規格.....	2
騒音性能.....	2
運転質量および接地圧.....	3
主要コンポーネント質量.....	3
寸法.....	4
作業範囲・掘削力.....	5
バケット仕様および互換性.....	6
アタッチメント適合ガイド.....	7
標準およびオプション装備品.....	8
ディーラ装着のキットおよびアタッチメント.....	10
330 GC の環境に関する宣言.....	11



オフロード法2014年
基準適合

330 GC 油圧ショベルの仕様

エンジン

エンジンモデル	Cat® C7.1	
定格出力 (ネット)		
ISO 9249	150 kW	201 hp
ISO 9249 (DIN)	204 hp (メートル単位)	
エンジン出力		
ISO 14396	151 kW	202 hp
ISO 14396 (DIN)	205 hp (メートル単位)	
内径	105 mm	4 in
行程	135 mm	5 in
総行程容積 (排気量)	7.1 L	433 in ³

- バイオディーゼル対応 B20 まで⁽¹⁾
- 米 EPA Tier 4 Final、EU Stage V、韓国 Stage V、日本 2014 年規制の各排出ガス基準に適合しています。
 - 標高 4,500 m (14,760 ft) まで運転可能。ただし、標高 3,000 m (9,840 ft) を超えるとエンジン出力は低下します。
 - 公称出力は、製造時点で有効な指定規格の下で試験した場合の値です。
 - 表示されている定格出力 (ネット) は、エンジンにファン、エアインテイクシステム、排気システム、およびオルタネータを装備している場合に、フライホイール部で得られる出力です。
 - 定格エンジン回転数は 2,200 rpm。

⁽¹⁾ CAT ディーゼルエンジンでは、ULSD (硫黄含有量が 15 ppm 以下の超低硫黄ディーゼル燃料) または次までの低炭素強度燃料 ** を混合した ULSD を使用する必要があります。

- ✓ 20% のバイオディーゼル FAME (脂肪酸メチルエステル) *
- ✓ 最大 100% の再生可能ディーゼル、HVO (水添植物油)、および GTL (ガス液化) 燃料

適切な用途については、ガイドラインを参照してください。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせいただくか、"Caterpillar 製機械推奨液体類" (SEBU6250) を参照してください。

* 後処理装置のないエンジンは、より高い混合率に対応し、最大 100% のバイオディーゼルを使用できます (混合率が 20% を超えるバイオディーゼルの使用については、Cat ディーラにお問い合わせください)。

** 低炭素強度燃料による排気管からの温室効果ガスの排出は、本質的には従来の燃料と同じです。

旋回機構

旋回速度	11.5 rpm	
最大旋回トルク	105 kN·m	77,370 lbf·ft

質量

運転質量	27,800 kg	61,300 lb
------	-----------	-----------

- 標準足回り、リーチブーム、R3.2 m (10 ft 6 in) アーム、標準デューティ掘削 (GDX) 1.20 m³ (1.57 yd³) バケット、600 mm (24 in) トリプルグロウサシュー、5,800 kg (12,790 lb) カウンタウエイト

トラック

標準トラックシュー幅	600 mm	24 in
オプショントラックシュー幅	800 mm	31 in
シューの数 (片側)	45	
トラックローラの数 (片側)	7	
キャリアローラの数 (片側)	2	

駆動系

登坂能力	35°/70%	
最高走行速度	5.3 km/h	3.3 mph
最大けん引力	248 kN	55,753 lbf

油圧システム

メインシステム - 最大流量 - 作業時	560 L/min (280 × 2 ポンプ)	148 gal/min (74 × 2 ポンプ)
最大圧力 - 作業機	35,000 kPa	5,075 psi
最大圧力 - 走行時	35,000 kPa	5,075 psi
最大圧力 - 旋回時	28,400 kPa	4,118 psi
ブームシリンダ - 内径	140 mm	6 in
ブームシリンダ - 行程	1,407 mm	55 in
スティックシリンダ - 内径	150 mm	6 in
スティックシリンダ - 行程	1,646 mm	65 in
バケットシリンダ - 内径	135 mm	5 in
バケットシリンダ - 行程	1,156 mm	46 in

交換容量

燃料タンク容量	474 L	125.2 gal
冷却系統	25 L	6.6 gal
エンジンオイル	25 L	6.6 gal
旋回ドライブ	10 L	2.6 gal
ファイナルドライブ (片側)	5.5 L	1.5 gal
作動油 (全量)	310 L	81.9 gal
作動油タンク	147 L	38.8 gal
尿素水タンク	41 L	10.8 gal

規格

ブレーキ	ISO 10265: 2008
キャブ / 転倒時運転者保護構造 (ROPS、Rollover Protective Structure)	ISO 12117-2:2008
オペレータ保護ガード (OPG) (オプション)	ISO 10262:1998 Level II

騒音性能

ISO 6395:2008 (外部)	103 dB (A)
ISO 6396:2008 (キャブ内部)	70 dB (A)

- 開放型の運転席やキャブ (適切にメンテナンスがされていない場合や、ドア/ウィンドウが開いている状態) で長時間作業を行うときや、騒音の激しい環境で作業を行うときには、聴力保護具が必要になる場合があります。

運転質量および接地圧

ベース車両仕様構成	600 mm (24 in) トリプル グロースシュー		800 mm (31 in) トリプル グロースシュー	
	質量	接地圧	質量	接地圧
トラックローラおよびキャリアローラ付きのベースフレーム				
5,800 kg (12,790 lb) カウンタウエイト + 標準足回りベース車両				
リーチブーム + R3.2CB2 (10 ft 6 in) アーム + 1.20 m ³ (1.57 yd ³) GDX バケット	27,800 kg (61,300 lb)	59.9 kPa (8.7 psi)	28,800 kg (63,500 lb)	46.6 kPa (6.8 psi)

すべての運転質量には、燃料タンク 90 % と 75 kg (165 lb) のオペレータが含まれます。

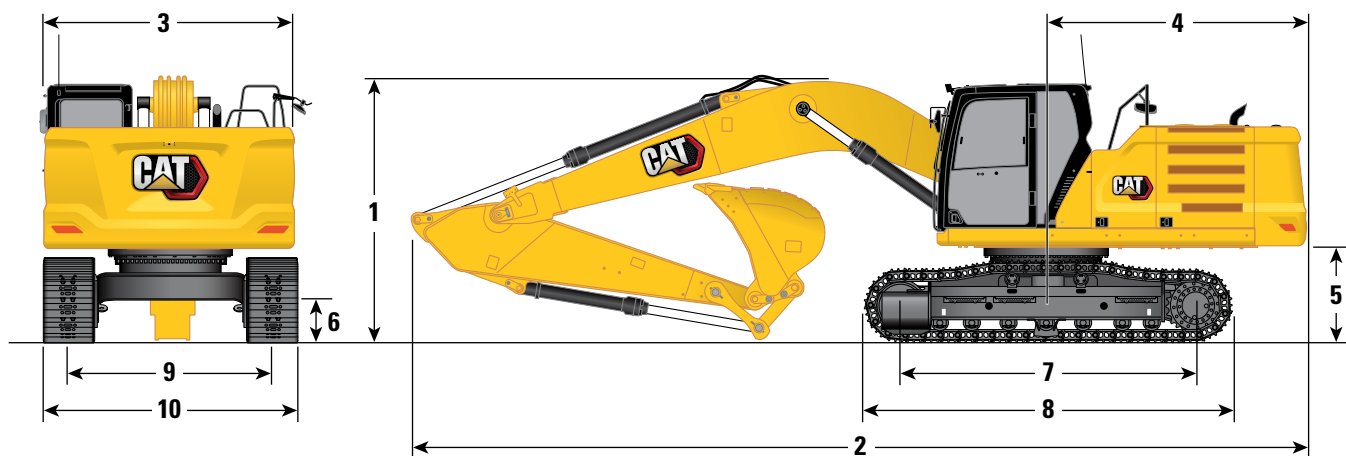
主要コンポーネント質量

	kg	lb
ベース車両 (5,800 kg (12,790 lb) カウンタウエイト、スイングフレーム、標準足回り (HD ローラと 2 個のブームシリンダを含む)) - 90 % 燃料タンクと 75 kg (165 lb) のオペレータの質量を含まない。	19,220	42,400
トラックシュー :		
幅 600 mm (24 in)、厚さ 11 mm (0.43 in) のトリプルグローストラックシュー	3,280	7,200
幅 800 mm (31 in)、厚さ 13 mm (0.51 in) のトリプルグローストラックシュー (ステップエクステンション装備)	4,240	9,300
ブームシリンダ (2 本)	490	1,100
燃料タンク 90 % および 75 kg (165 lb) のオペレータの質量	460	1,000
カウンタウエイト :		
5,800 kg (12,790 lb) カウンタウエイト	5,800	12,800
ブーム (ライン、ピン、スティックシリンダを含む) :		
リーチブーム 6.15 m (20 ft 2 in)	2,300	5,100
アーム (ライン、ピン、バケットシリンダ、バケットリンケージを含む) :		
リーチアーム R3.2CB2 (10 ft 6 in)	1,440	3,200
バケット (リンケージなし、チップおよびサイドカッタ付き) :		
1.50 m ³ (1.96 yd ³) GDX、CB リンケージ	1,160	2,560
1.30 m ³ (1.70 yd ³) ヘビーデューティ掘削 (HDX)、CB リンケージ	1,210	2,670
1.20 m ³ (1.57 yd ³) GDX、CB リンケージ	1,030	2,270
1.10 m ³ (1.44 yd ³) GDX、CB リンケージ	980	2,160
クイックカプラ (QC) :		
ピングラバ QC CB (ピンを含む)	530	1,200
ピングラバ QC CB (ピンなし)	500	1,100
専用 QC	430	900

330 GC 油圧ショベルの仕様

寸法

すべての寸法は概算であり、バケットの選択により変わります。



ブームオプション

リーチブーム 6.15 m (20 ft 2 in)

アームオプション

リーチアーム R3.2CB2 (10 ft 6 in)

1 車両の高さ:

キャブの高さ	3,050 mm	10'0"
OPG の高さ	3,190 mm	10'6"
ハンドレール部高さ	3,050 mm	10'0"
ブーム / アーム / バケット装着	3,400 mm	11'0"
ブーム / アーム装着	3,380 mm	11'1"
ブーム装着	3,050 mm	10'0"

2 車両長さ:

ブーム / アーム / バケット装着	10,420 mm	34'2"
ブーム / アーム装着	10,420 mm	34'2"
ブーム装着	9,230 mm	30'3"

3 上部フレーム幅

2,940 mm 9'7"

4 後端旋回半径

3,130 mm 10'3"

5 カウンタウエイト下端高さ

1,110 mm 3'8"

6 最低地上高

490 mm 1'7"

7 タンブラ中心距離

3,490 mm 11'5"

8 トラック全長

4,350 mm 14'3"

9 クローラ中心距離

2,390 mm 7'10"

10 足回り幅:

600 mm (24 in) シュー	2,990 mm	9'9"
800 mm (31 in) シュー	3,190 mm	10'5"

バケットタイプ

GDX

バケット容量

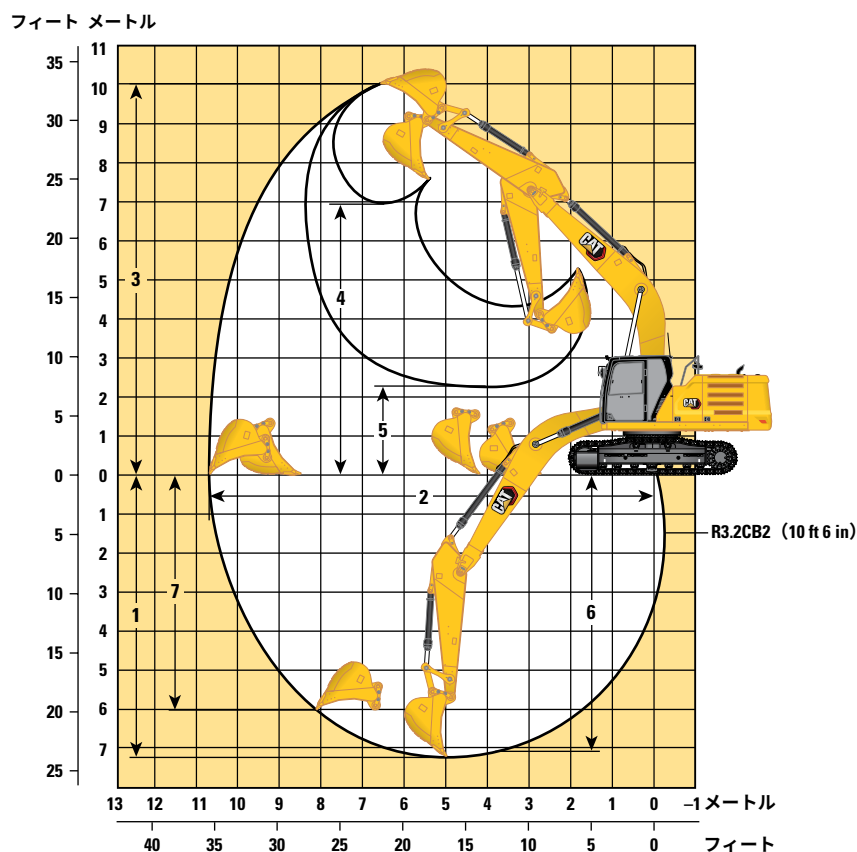
1.20 m³ 1.57 yd³

バケットチップの半径

1,580 mm 5'2"

作業範囲・掘削力

すべての寸法は概算であり、バケットの選択により変わります。



ブームオプション	リーチブーム 6.15 m (20 ft 2 in)	
アームオプション	リーチアーム R3.2CB2 (10 ft 6 in)	
1 最大掘削深さ	7,170 mm	23'6"
2 最大床面掘削半径	10,600 mm	34'9"
3 最大掘削高さ	10,010 mm	32'10"
4 最大ダンプ高さ	7,020 mm	23'0"
5 最小ダンプ高さ	2,370 mm	7'9"
6 2,440 mm (8 ft 0 in) のレベルボトムでの最大切削深さ	7,010 mm	23'0"
7 最大垂直掘削深さ	5,960 mm	19'7"
バケット掘削力 (ISO)	179 kN	40,240 lbf
アーム掘削力 (ISO)	126 kN	28,330 lbf
バケットタイプ	GDx	
バケット容量	1.20 m ³	1.57 yd ³
バケットチップの半径	1,580 mm	5'2"

330 GC 油圧ショベルの仕様

バケット仕様および互換性

	リンケージ	幅		容量		質量		充填率 %	リーチブーム R3.2 (10 ft 6 in)
		mm	in	m ³	yd ³	kg	lb		
ピンオン (クイックカブラなし)									
標準デューティ掘削	CB	1,300	51	1.10	1.44	983	2,167	100	●
	CB	1,350	53	1.20	1.57	1,034	2,280	100	●
	CB	1,650	65	1.50	1.96	1,157	2,552	100	⊖
ヘビーデューティ掘削	CB	1,300	51	1.10	1.44	1,110	2,447	100	●
	CB	1,450	57	1.30	1.70	1,213	2,674	100	◎
ピンオン装着時の最大荷重 (積載質量 + バケツ)								kg	3660
								lb	8,069
ピングラバクイックカブラあり									
標準デューティ掘削	CB	1,300	51	1.10	1.44	983	2,167	100	◎
	CB	1,350	53	1.20	1.57	1,034	2,280	100	◎
	CB	1,650	65	1.50	1.96	1,157	2,552	100	○
ヘビーデューティ掘削	CB	1,300	51	1.10	1.44	1,110	2,447	100	◎
	CB	1,450	57	1.30	1.70	1,213	2,674	100	⊖
カブラ装着時の最大荷重 (積載質量 + バケツ)								kg	3134
								lb	6,909

上記の負荷は油圧ショベル規格の EN474-5:2006 + A3:2013 に準拠しており、フロントリンケージを地上ラインまで完全に伸ばしてバケツを縮めた状態で、油圧リフト能力の 87%、またはチップング容量 (バケツ転倒容量) の 75% を超えないようになっています。

容量は ISO 7451:2007 に準拠しています。

バケツ質量は標準デューティチップ装着時のものです。

マテリアルの最大密度:

- 2,100 kg/m³ (3,500 lb/yd³)
- ◎ 1,800 kg/m³ (3,000 lb/yd³)
- ⊖ 1,500 kg/m³ (2,500 lb/yd³)
- 1,200 kg/m³ (2,000 lb/yd³)

Caterpillar 社では、製品から最大限の価値を得られるように適切なワークツールを使用するようお勧めしています。質量、寸法、流量、および圧力などに関する、Caterpillar 社の推奨事項や仕様に沿わないワークツール (バケツを含む) を使用すると、生産性、安定性、信頼性、またはコンポーネントの耐久性が低下するなど、最適な性能を得られない場合があります。また、引きずる、てこのようにこじる、ねじる、重量物を受け止めるなど、ワークツールの誤使用は、ブームおよびアームの耐用年数低下につながります。

アタッチメント適合ガイド

地域により、ご使用になれないアタッチメントもあります。お客様の地域でご購入いただけるコンフィギュレーションについては、お近くの Cat ディーラにお問い合わせください。

適合

* 作業範囲はフロントのみ

ピンオンアタッチメント

ブームの種類		リーチ
スティックの長さ		R3.2 (10 ft 6 in)
油圧ブレーカ	H120 S	✓
	H130 S	✓
	H140 S	✓
	H160 S	✓*
ロータリカッター	RC20	✓
	RC30	✓

CAT ピングラバカプラアタッチメント

ブームの種類		リーチ
スティックの長さ		R3.2 (10 ft 6 in)
油圧ブレーカ	H120 S	✓
	H130 S	✓
	H140 S	✓
ロータリカッター	RC20	✓
	RC30	✓

ブーム取付けアタッチメント

ブームの種類		リーチ
スクラップおよび解体用モービルシャー	S2070	✓
	S3050 フラットトップ	✓

330 GC の標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせください。

	標準	オプション		標準	オプション
キャブ			エンジン		
ROPS	✓		Cat® C7.1、シングルターボディーゼルエンジン	✓	
高解像度 203 mm (8 in) LCD タッチスクリーンモニター	✓		2つの選択可能モード：パワー、スマート	✓	
自動バイレベルエアコン	✓		オートマチックエンジンスピードコントロール	✓	
モニター操作用ジョグダイヤルおよびショートカットキー	✓		オートアイドルリングストップ機能	✓	
キーレスプッシュスタート式のエンジン制御	✓		標高 4,500 m (14,760 ft) まで運転可能。ただし、標高 3,000 m (9,840 ft) を超えるとエンジン出力は低下	✓	
高さ調整可能なコンソール、工具で3段階に調整	✓		52 °C (125 °F) の高い周囲温度にも対応する冷却機能で出力低下なく稼働	✓	
固定式の左側コンソール	✓		寒冷時始動機能 (-18 °C (0 °F) まで)	✓	
機械調整式シートサスペンション	✓		寒冷時始動機能 (-32 °C (-25 °F) まで)		✓
51 mm (2 in) シートベルト	✓		115 A デュアルオルタネータ (2台)	✓	
Bluetooth® 搭載ラジオ (USB/Aux ポート付き)	✓		プレクリーナー内蔵の密閉式ダブルエレメントエアフィルタ	✓	
12 V DC コンセント	✓		2段階式燃料ろ過 (ウォーターセパレータおよびウォーターインジケータ付き)	✓	
書類収納スペース	✓		電動燃料プライミングポンプ	✓	
カップおよびボトルホルダ	✓		電動冷却ファン (自動反転機能付き)	✓	
開閉可能な2分割式フロントウィンドウ	✓		油圧システム		
リアウインドの緊急用避難口	✓		電子式メインコントロールバルブ	✓	
ウォッシュ付き上部ラジアルワイパ	✓		電子制御式ブーム再生回路	✓	
開閉式スチール製ハッチ	✓		アーム再生回路	✓	
LED 車内灯	✓		自動暖機機能	✓	
ローラ式フロントサンスクリーン	✓		自動2速走行	✓	
ローラ式リアサンスクリーン		✓	ブームおよびスティックドリフトリダクションバルブ	✓	
フロアマット (水洗い可)	✓		高性能油圧リターンフィルタ	✓	
ビーコン対応	✓		ファイナルドライブ (生分解性作動油対応トラベルモータ付き)	✓	
CAT テクノロジー			ブレーカリターンフィルタ回路		✓
VisionLink®	✓*		ツールコントロール (ポンプ2基、単動/複動の高圧フロー)		✓
VisionLink 生産性		✓	中圧回路		✓
リモートフラッシュ	✓		CAT ピングラバ用および CW 専用共通クイックカブラ回路		✓
* 接続サブスクリプションのみ。追加サブスクリプションが利用可能です。入手情報については、Cat ディーラにお問い合わせください。			電子式パターンチェンジャ (有効化が必要)	✓	

(次ページに続く)

標準およびオプション装備品 (続き)

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat ディーラーにお問い合わせください。

	標準	オプション		標準	オプション
ブーム、アーム、リンケージ			整備とメンテナンス		
6.15 m (20 ft 2 in) リーチブーム	✓		エンジンオイルフィルタと燃料フィルタをまとめて配置	✓	
3.2 m (10 ft 6 in) リーチアーム	✓		グラウンドレベルの第2エンジンオイルレベルゲージ	✓	
バケットリンケージ、CB2 ファミリ	✓		サイド乗車式のサービスプラットフォーム	✓	
足回りと構造			安全とセキュリティ		
センタートラックガイディングガード	✓		定期オイルサンプリング (S-O-S SM) ポート	✓	
ボトムガード	✓		ラジエータスクリーン		✓
スィベルガード		✓	統合車両状態管理システム	✓	
トラベルモータガード	✓		安全とセキュリティ		
グリース潤滑済みトラック	✓		ブレーカ自動停止機能	✓	
ベースフレーム上の固定箇所	✓		リアビュー / 右側サイドビューカメラ	✓	
5,800 kg (12,790 lb) カウンタウエイト	✓		Cat PL161 アタッチメントロケータ		✓
600 mm (24 in) トリプルグローサトラックシュー	✓		PIN コードによる安全始動機能	✓	
800 mm (31 in) トリプルグローサトラックシュー		✓	Caterpillar ワンキーセキュリティシステム	✓	
電気系統			ロック式外部ツールボックス / ストレージボックス		
メンテナンスフリー 1,000 CCA バッテリー (× 2)	✓		ロック式ドア (燃料タンクおよび作動油タンクのロック)	✓	
プログラム可能な消灯遅延機能付き LED 作業灯	✓		ロック式燃料ドレンコンパートメント	✓	
集中配置された電気系統ディスコネクトスイッチ	✓		滑り止めプレートおよび沈み込み式ボルトを備えたサービスプラットフォーム	✓	
LED シャーシライト	✓		右ハンドレールと手すり	✓	
LED 左右ブームライト、キャブライト		✓	キャブミラー (右側トラックエッジ用)	✓	
			信号 / 警告ホーン	✓	
			旋回アラーム		✓
			キャブ内グラウンドレベルセカンダリエンジンシャットオフスイッチ	✓	
			施錠可能なディスコネクトスイッチ	✓	
			全コントロールを無効にする油圧ロックアウトレバー	✓	
			点検用照明		✓

ディーラ装着のキットおよびアタッチメント

アタッチメントはこれと異なる場合があります。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせください。

キャブ

- ツールコントロールのための右側 / 左側電気ペダル (2 方向)
- 2 分割式 (70/30) キャブフロントウィンドウのウォッシャー付きラジアルワイパ (下部)
- ポリカーボネート製ルーフハッチ
- P5A ラミネートガラスキャブフロントウィンドウおよびルーフハッチ

ガード

- オペレータ保護ガード (キャブライトカバー、レインプロテクタには非対応)
- キャブフロントフルガード (メッシュタイプ) (キャブライトカバー、レインプロテクタには非対応)
- キャブフロントハーフガード (メッシュタイプ)

整備やメンテナンス

- グリースガンホルダ

安全とセキュリティ

- Bluetooth 対応レシーバ

次の情報は、本書の対象となっている地域で販売するために構成された、最終製造時の機械に適用されます。この宣言の内容は発効日時点で有効ですが、機械の機能および仕様に関連した内容は予告なしに変更されることがあります。詳細については、機械の取扱説明書を参照してください。

サステナビリティの実例および当社の進捗状況については、<https://www.caterpillar.com/en/company/sustainability> をご覧ください。

エンジン

- Cat® C7.1 エンジンは、米国 EPA Tier 4 Final、EU Stage V、韓国 Stage V、日本オフロード法 2014 年基準の各排出ガス基準に適合しています。
- CAT ディーゼルエンジンでは、ULSD（硫黄含有量が 15 ppm 以下の超低硫黄ディーゼル燃料）または次までの低炭素強度燃料**を混合した ULSD を使用する必要があります。
 - ✓ 20% のバイオディーゼル FAME（脂肪酸メチルエステル）*
 - ✓ 最大 100% の再生可能ディーゼル、HVO（水添植物油）、および GTL（ガス液化）燃料
 適切な用途については、ガイドラインを参照してください。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせいただくか、"Caterpillar 製機械推奨液体類"（SEBU6250）を参照してください。
 - * 後処理装置のないエンジンは、より高い混合率に対応し、最大 100% のバイオディーゼルを使用できます（混合率が 20% を超えるバイオディーゼルの使用については、Cat ディーラにお問い合わせください）。
 - ** 低炭素強度燃料による排気管からの温室効果ガスの排出は、本質的には従来の燃料と同じです。

エアコンディショニングシステム

- 当機のエアコンディショニングシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒 R134a（地球温暖化係数=1,430）を使用。このシステムは、1.216 トン（1,340 米トン）相当の CO₂ を含む冷媒を 0.85 Kg（1.9 lb）使用しています。

塗料

- 把握できる限りの情報に基づく、次の重金属の塗装内の最大許容濃度（ppm 単位）は次のとおりです。
 - バリウム < 0.01 %
 - カドミウム < 0.01 %
 - クロム < 0.01 %
 - 鉛 < 0.01 %

騒音性能

ISO 6395:2008（外部）- 103 dB(A)

ISO 6396:2008（キャブ内部）- 70 dB(A)

- 開放型の運転席やキャブ（適切にメンテナンスがされていない場合や、ドア/ウィンドウが開いている状態）で長時間作業を行うときや、騒音の激しい環境で作業を行うときには、聴力保護具が必要になる場合があります。

油水類

- 工場出荷時には、エチレングリコール冷却水が充填されています。CAT ディーゼルエンジン不凍液/クーラント（DEAC）および CAT エクステンデッドライクーラント（ELC）は、リサイクルできます。詳しくは、最寄りの Cat ディーラにお問い合わせください。
- CAT Bio HYDO™ Advanced は、EU Ecolabel 認証済みの生分解性作動油です。
- その他の油水類も存在する可能性があります。詳細な推奨油水類およびメンテナンス間隔については、取扱説明書または用途および設置ガイドを参照してください。

機能およびテクノロジー

- 次の機能およびテクノロジーは、燃料の節約および二酸化炭素排出量の削減に貢献する可能性があります。機能は異なる場合があります。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせください。
 - 先進の油圧システムが出力と効率のバランスを保ちます
 - スマートモードは、機械のパワーを掘削要件に自動的に一致させます
 - サービス間隔の延長により、メンテナンスコストを最大 25% 削減できます
 - プログラム可能な高効率の冷却ファンは必要時のみ作動します
 - 最新の作動油フィルタは、耐用寿命がより長く、交換間隔は 3,000 時間です

リサイクル

- 車両に含まれる材質の分類と概算の質量割合を以下に示します。製品コンフィギュレーションの違いにより、次の表の値は実際と異なる場合があります。

材質タイプ	質量割合
スチール製	86.85%
鉄	4.63%
非鉄金属	1.55%
合金	0.07%
金属および非金属混合物	0.63%
プラスチック	1.79%
ラバー製	0.16%
非金属混合物	0.23%
油水類	3.12%
その他	0.96%
未分類	0.00%
合計	100%

- リサイクル可能率の高い車両により、貴重な天然資源をさらに効率的に使用でき、耐用年数に到達した製品の価値が高まります。16714:2008（土木建設機械類 - リサイクル可能率および回収可能率 - 用語および計算方法）によれば、リサイクル可能率は新品の車両のリサイクル、再利用、またはその両方が可能な質量による割合（パーセント単位の質量分率）として定義されます。

部品表のすべての部品は、まず ISO 16714:2008 および日本 CEMA（Construction Equipment Manufacturers Association、日本建設機械工業会）の基準により定義されているコンポーネントの一覧に基づくコンポーネントタイプにより評価されます。さらに、残りの部品のリサイクル可能率が材質タイプに基づいて評価されます。

製品コンフィギュレーションの違いにより、次の表の値は実際と異なる場合があります。

リサイクル可能率 - 97%

CAT 製品、ディーラサービス、および産業ソリューションに関する詳細情報については、Web サイト (www.cat.com) をご覧ください。

© 2023 Caterpillar
All rights reserved

この製品に使用されるマテリアルと仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の車両には、オプション装備品が装着されていることがあります。利用可能なオプションについては、Cat ディーラにお問い合わせください。

CAT、CATERPILLAR、LET'S DO THE WORK、それらの各ロゴ、"Caterpillar Corporate Yellow"、"Power Edge" および Cat "Modern Hex" のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar 社の商標であり、許可なく使用することはできません。VisionLink は Caterpillar 社の商標であり、米国およびその他の国で登録されています。

労働安全衛生法に基づき、機体質量 3 トン未満の建設機械の運転には事業者が実施する「小型車両系建設機械運転技能特別教育」の修了が必要です。労働安全衛生法に基づき、機体質量 3 トン以上の「車両系建設機械（整地、運搬、積込、掘削用および解体用）」の運転には、登録教習機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。

AJXJ0088-05 (10-2023)
AJXJ0088-04 の改訂版
ビルド番号 : 07F
(Japan)

